

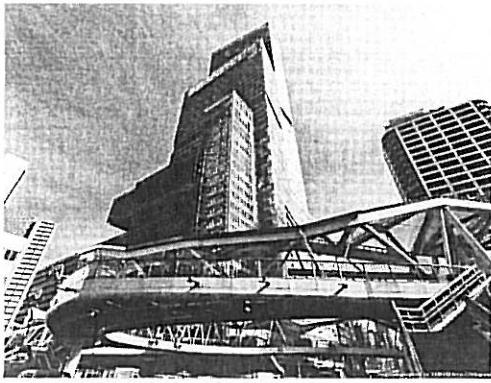
あべのハルカス

3月7日グランドオープン

南西方面から見たあべのハルカス



阿倍野歩道橋とあべのハルカス



母校から望む日本一のノッポビル

通天閣より天王寺公園越しに見たあべのハルカス



かねてより建設が進められていました、附属天王寺小学校のお隣元、大阪・阿倍野のランドマーク「あべのハルカス」が、この度ついに竣工、3月7日にグランドオープン、全面開業となりました。

建設規模は、延床面積30万6千㎡（内タワー1館は21万2千㎡）、地上60階・地下5階の壮大なもので、高さ300mは、横浜ランドマークタワーを抜き、「日本一高いビル」の称号が大阪に移りました。

名称であるハルカスは、古語の「晴るかす」から由来しており、この言葉には「人の心を晴れ晴れとさせる」という意味があり、ビルの上層階から晴れやかな景色を見渡して爽快感を味わえることや、多彩で充実した施設で来訪者に心地よさを感じてもらいたい、という思いが込められています。

世界へ発信し、発展していくあべのと共に、附属天王寺小学校も、将来世界で活躍する子どもたちを育て続けてほしいものです。

抜群の景観！母校へお立ち寄りください

雑松会 ジュニア会のご案内

★平成19年卒～平成26年卒の人

日時 平成26年3月24日(月)
AM10:00～12:00
場所 母校(附属天王寺小学校)

内 容	
○議事	恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。
○アトラクション	
○年次毎の同窓会	

総会・懇親会は二年に一度です。本年度は総会・懇親会はありません。

雑松

第45号



平成26年3月10日

雑松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

<主な記事>

- ◆雑松会ジュニア会のご案内……………1面
- ◆名誉会長・会長挨拶……………2面
- ◆第34回雑松会総会……………3面
- ◆附小NOW……………4面
- ◆転出された先生方……………5面
- ◆同期会報告……………6面
- ◆近況報告エトセトラ……………7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面

知恵を自ら育む教育を目指す



雛松会名誉会長
大阪教育大学
附屬天王寺小学校校長
水野 恵司

雛松会員はどこで活躍しているか

平成23年12月雛松会員名簿第13版が刊行された。同窓会名簿は、会員同志の連絡に役立ち、会員間の絆を強めるだけでなく、会員の皆さんが活躍されている様子もよく読み取れる。改めて刊行に尽力いただき、改定委員会の皆様には御礼を申し上げます。

この小文においては、名簿所至手前がかりにして、雛松会会員が卒業後のような地域で活躍されているのかを人口地理学的観点から考えてみようと思つた。

多くの会員は母校を卒業後、中学と高校に親元から通学し、更に進んで大学進学や就職をしても、住所を実家のままとして届けられる場合が多いと想像できる。従って卒業後しばらくの居住所は実態を示さないかもしれない。そこで、名簿に住所表記のある方々のうち、昭和60年度卒業（第104期）で現在約40歳までの方の3372人を対象とした。

結果は以下の通りである。近畿地方79%、大阪99%、兵庫11%、奈良6%、京都2%、滋賀・和歌山1%、関東地方6%、東京3%、神奈川4%、千葉・埼玉3%、茨城・栃木・群馬1%、中部地方3%、中国・四国地方1%、九州沖縄地方1%、東北地方0.5%、北海道0.5%、海外0.5%、アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール）

別居先を見ると、近畿地方49%、関東地方38%、中部地方6%、中国四国地方3%、九州沖縄地方1%、東北北海道1%、海外1%に居住することが多く、次いで東京都市圏の居住者が多い。反対にその他の地方に居住する割合は非常に小さいように見える。またアメリカ合衆国を中心に世界各地に居住する。

一般的に人口移動と比べるために、例えば昭和60年度の大阪府からの転出者数他の地域に49%が分布して

いる。この期間の初めに日本は第一次産業から第二次産業へ、後半期には第三次産業への就業人口の転換が進んだ。都市に多くの産業が成長し、人口を引寄せさせた。同時に政治経済社会文化活動の中心機能が最も東京に、次いで大阪と名古屋に集中した。大阪はその地理的位置と歴史的背景から近畿、関東地方、九州沖縄地方、中国四国地方、中部地方との結びつきが強い。そのことが前述した大阪からの転出者数の地域別割合に反映されている。近年は人、物、情報の流動が加速し、空間的に拡大し、東京の中心性が強くなり、大阪の比重は低下しつつある。そのため大阪から東京への転出超過も拡大している。初めに述べた、大阪を離



雛松会会長
(昭和36年卒)
西川 雅夫

学力と人間力と

附屬天王寺小学校も本年で創立37年を迎えます。明治10年7月（1877年）に大阪府師範学校附屬演習小学校として創立され、今日に至るまで1、100名を超える卒業生を送り出してまいりました。これからは、歴史と伝統に培われた気品、個性豊かな活動力、コミュニケーション力、リーダーシップを備えた雛松会一員が更に活躍を求め、世界に向けてグローバルに

次世代に渡り永く活躍されますことを期待申し上げる次第でございます。さて、第二次安倍内閣が掲げた「三本の矢」を柱とする経済政策「アベノミクス」は、デフレ脱却を目的とした10兆円規模の大型金融政策においてひとまず成功を果たし、円高修正、株価上昇、輸出好調となり、大企業や銀行各社が過去最高の利益を上げる等、日本全体の景気回復と消費拡大

につながっております。特に4月からの消費税増徴の影響もあり、高額商品の好調な先行きは近年にない現象と言えます。

この度、大阪天王寺において、高き日本一を誇るあべのハルカスが3月7日にオープン、全国からの注目を集め、天王寺周辺のランドマークとなっており、美術館をはじめ、世界の先端技術を取り入れた大阪市大の医療診療設備や、グロ

ーバルに展開しているマリオートホテルの併設等、近鉄ブルーパルが総力を結集し、世界、特にアジアに向けての情報発信基地として展開しております。この総力を結集させたあべのハルカスといつ大商業施設が、同僚野、天王寺の地域に及ぼす影響は計り知れないものがあり、その地域と訪れるお客様と与えた価値創造は、大いに評価すべきものだと思います。

去る2月8日に雛松会の役員新年会を天王寺「新館」にて開催させて頂きました。学校側からは水野校長をはじめ、山手副校長、山本教諭、教育後援会理事長の西村、PTA会長の馬場様、各役員の方々の出席のもと、総勢30名の頭角を世を兼ねた新年会となりました。このように、附屬天王寺小学校の主要セクションの方々が一堂に会する機会を得ましたことは、大変良かったと思っております。また、今文科直で検討されております放課後利用の問題や、英語授業に関する課題、グローバル社会における、学力と人間力とも兼ねるコミュニケーション力をもつように強化し、教員

育成につなげていくか等、小学校教育の課題について大いに語り合つたことが、有意義な会合となりました。これを機会に、今後も附屬天王寺小学校を思う心を集結した会合を持ちたいと思っております。

昨今雛松会のトピックスと言えは、大阪教育大学附屬天王寺中・高等学校を卒業された山中伸弥氏のiPS細胞のノーベル賞受賞でしたが、この度の小保方晴子さんのSTAP細胞に関する理系女子の活躍は、年初の大きな話題となりました。山中氏が「創造性を育成する授業」を受け、「よへ学び、よく遊べ」の附屬の教育方針に感謝すると語って

保方さんの意表を突いた発見の根拠には、ヒトとマウスを相違するものがあるのではないかと思われまふ。このように知識を詰め込む教育から、フィジカンドのような知恵を自ら育む教育を目指す、個性豊かな人づくりをモットーに、附屬の長さが十分に生かされた人材が生まれることを念じております。

ノワールプチペンケース

雛松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈していますが、本年度133期卒業生には、写真の「ノワールプチペンケース」を贈ることになり、3月14日の卒業式当日に、卒業生全員に渡されます。

133期卒業生記念品

雛松会ホームページ

<http://www.hinamatsu.com/>

総会・懇親会の案内や雛松会の歩み、役員と各幹事、会費・協賛金の案内、そして会報のバックナンバーもご覧いただけます。是非「お気に入り」に入れて、時々雛松会のことを思い出して下さい！

お元気ですか。またお会い しましょう

級・友・か・ら・の

近況報告

エ・ト・セ・ト・ラ

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に1度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

- 昭和9年卒 福田 武之
今年で92才になります。元気に趣味三昧で暮らしてあります。孫は孫、ひ孫はひ孫と共にはり島旅行中ですので、欠席していました。
- 昭和17年卒 上田 誠也
金藤順次郎君と同期だったと思いますが、天王寺小学校には4、5年生の頃通っていました。数年前、金藤君とは偶然再会するところがありました。紫雲一慶君とも文通しています。なかなか難松会にも出席できず、残念です。
- 昭和18年卒 永田 夏雄
前同、田村新十郎君が出席し、会員の消息を話したと思います。
- 昭和24年卒 新保 市弘
自然ボランティアに努力中です。URLでご覧下さい。
<http://www.hihome.jp/simino/>
- 昭和24年卒 河島 彦明
昭和24年卒の仲間として今年(平成25年)は喜寿の年になります。2011年以降のクラス同窓会を秋にはやりたいと考えております。
- 昭和26年卒 福田 悦子
毎年、同窓会(山松会)が開かれています。卒業以来と云われたことはありません。
- 昭和27年卒 奥村 桂子(旧姓本田)
私達は一度も現役書に入ることなく卒業しましたが、「難松」の会報を見てみると、年を取れば取る程、大変楽しかった附小時代のことが懐かしく思い出されます。

附小なのだ改めて感謝しています。

昭和42年卒 有田 憲治
30年以上のアメリカ生活の後、日本に帰国して3年近くになります。東京での生活も慣れましたが、やはり大阪の手事は忘れられないです。数年後にアメリカへ帰国しますが、それまでは日本の生活をエンジョイしたいと思えます。

昭和43年卒 秋田 光彦
おかげさまでバドミントンに、平成25年に創立60周年を迎えます。それを期に、このたび学校法人連光学園を創設、平成26年度には大規模な園舎リニューアル工事を予定しています。

昭和58年卒 首藤 久美(旧姓中辻)
表千家茶道講師として自宅にて指導を始めました。附属のご縁ですばらしい先生や仲間とめぐり合え、世代を越えて、お茶の心を共有し、生活しております。

昭和59年卒 日々過ごしたいと思えます。

平成10年卒 喜多 亮太
2013年、月に長男が誕生しました。大阪に生まれた際はせひ家にお立ち寄り下さい。

平成17年卒 中村 仁美
成人式(2013年)では多くの友達や先生方とお会いでき、とてもうれしかったです。

平成24年卒 平手 愛菜
平成24年に附中に入學し、女子バレー部に入部しました。部活も勉強もがんばっています。

平成24年卒 ひなまつりユニオン会です。

平成24年卒 31期の皆に会える事を楽しみにしております。

昭和43年卒 秋田 光彦
おかげさまでバドミントンに、平成25年に創立60周年を迎えます。それを期に、このたび学校法人連光学園を創設、平成26年度には大規模な園舎リニューアル工事を予定しています。

昭和32年卒 安田 美津子(旧姓成田)
昔段はずっかり忘れていた事なのですが、ふとした時に思い出されるのは附小時代の事です。私の原稿は

昭和50年卒 渡邊 俊和
神戸、大阪、東京、名古屋と転々と、2013年4月より上海で生活しています。情勢や環境など、良い話が多いので不安で、健康に気を付けて

昭和50年卒 平田 健
28年間勤務した日本興亜損害保険(株)を2013年3月末に退職、転勤生活に終止符を打ち、大阪に戻ることになりました。

平成2年卒 豊岡 佳奈(旧姓江田)
昨年、娘は結婚致しました。お父にも披露宴にも娘の小・中・高の友人が出席して下さり盛大なパーティーを楽しんだ学生 日々精進して取り組んでお

平成11年卒 後藤 優佳
平成24年4月に大阪教育大学附属天王寺中学校に入

平成24年卒 平手 愛菜
平成24年に附中に入學し、女子バレー部に入部しました。部活も勉強もがんばっています。

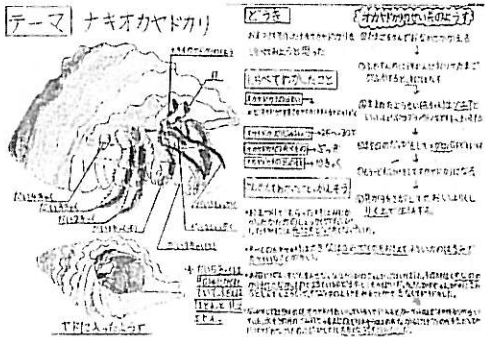
平成24年卒 ひなまつりユニオン会です。

在校生の活躍

第32回 「海とさかな」 自由研究 作品コンクール

附属天王寺小2年 善明宗一郎君

「ナキオカヤドカリ」で朝日学生新聞社賞受賞



人や生物を育む海と魚の不思議について考える第32回「海とさかな」自由研究・作品コンクール「朝日新聞社、朝日学生新聞社主催、日本水産協賛」で、府内の小学生2人の絵画(創作部門)と観察図(研究部門)が最優秀賞に選ばれた。コンクールには全国から約3万1千点の応募があった。(五十嵐聖士郎)

善明宗一郎君の観察図「ナキオカヤドカリ」

海とさかなコン

府内2小学生 最優秀賞 大教大付天王寺小2年・善明君 研究部門



カキを育て、砂にもぐって脱皮したり、水槽から逃げ出したりした生態や、その特徴をまとめた。
「去年はイワシの絵を描いたけど賞をとれなくて残念だったから、新しく飼ったヤドカリをテーマにした」と善明君。ヤドカリの絵は、父親に撮ってもらった写真を見ながら細かい部分まで丁寧に描いた。

大阪教育大学付属天王寺小2年の善明宗一郎君(8)は、「ナキオカヤドカリ」の観察図で朝日学生新聞社賞に選ばれた。夏祭りの屋台で買った3センチほどのヤドカリを、砂にもぐって脱皮したり、水槽から逃げ出したりした生態や、その特徴をまとめた。「去年はイワシの絵を描いたけど賞をとれなくて残念だったから、新しく飼ったヤドカリをテーマにした」と善明君。ヤドカリの絵は、父親に撮ってもらった写真を見ながら細かい部分まで丁寧に描いた。

ヤドカリを詳細に観察

平成25年度

年会費納入者氏名

(平成26年1月末現在・敬称略)

特別賛助会員

山上 隆郎・斎藤 隆徳・辻本 節子・安田 美津子・西川 雅夫・吉村 謙三・岡本 博雄・木下 浩一・山田 善雄・佐藤 武夫・藤田 隆夫

賛助会員

山田 美津子・大西 英子・野田 裕一・北村 正一・吉村 謙三・岡本 博雄・山田 善雄・佐藤 武夫・藤田 隆夫・岡本 博雄・岡本 博雄・岡本 博雄

昭和5年卒

山田 美津子

昭和6年卒

山田 美津子

昭和7年卒

山田 美津子

昭和8年卒

山田 美津子

昭和9年卒

山田 美津子

昭和10年卒

山田 美津子

昭和11年卒

山田 美津子

昭和12年卒

山田 美津子

昭和13年卒

山田 美津子

昭和14年卒

山田 美津子

昭和15年卒

山田 美津子

昭和16年卒

山田 美津子

昭和17年卒

山田 美津子

昭和18年卒

山田 美津子

昭和19年卒

山田 美津子

昭和20年卒

山田 美津子

昭和21年卒

山田 美津子

昭和22年卒

山田 美津子

昭和23年卒

山田 美津子

昭和24年卒

山田 美津子

昭和25年卒

山田 美津子

◎平成25年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。

◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思います。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116)

◎平成26年度の会費は別記のようになっております。重ねてご協力をお願いします。

昭和26年卒

山田 美津子

昭和27年卒

山田 美津子

昭和28年卒

山田 美津子

昭和29年卒

山田 美津子

昭和30年卒

山田 美津子

昭和31年卒

山田 美津子

昭和32年卒

山田 美津子

昭和33年卒

山田 美津子

昭和34年卒

山田 美津子

昭和35年卒

山田 美津子

昭和36年卒

山田 美津子

昭和37年卒

山田 美津子

昭和38年卒

山田 美津子

昭和39年卒

山田 美津子

昭和40年卒

山田 美津子

昭和41年卒

山田 美津子

昭和42年卒

山田 美津子

昭和43年卒

山田 美津子

昭和44年卒

山田 美津子

昭和45年卒

山田 美津子

昭和46年卒

山田 美津子

昭和47年卒

山田 美津子

昭和48年卒

山田 美津子

昭和49年卒

山田 美津子

昭和50年卒

山田 美津子

昭和51年卒

山田 美津子

昭和52年卒

山田 美津子

昭和53年卒

山田 美津子

昭和54年卒

山田 美津子

昭和55年卒

山田 美津子

昭和56年卒

山田 美津子

昭和58年卒

山田 美津子

昭和59年卒

山田 美津子

昭和60年卒

山田 美津子

昭和61年卒

山田 美津子

昭和62年卒

山田 美津子

昭和63年卒

山田 美津子

平成元年卒

山田 美津子

平成2年卒

山田 美津子

平成3年卒

山田 美津子

平成4年卒

山田 美津子

平成5年卒

山田 美津子

平成6年卒

山田 美津子

平成7年卒

山田 美津子

平成8年卒

山田 美津子

平成9年卒

山田 美津子

平成10年卒

山田 美津子

平成11年卒

山田 美津子

平成12年卒

山田 美津子

雑松会会計平成24年度収支計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日
会計標準 単位: 円

区分	金額	内容	金額
収入	2,026,000	年会費・特別賛助会員	1,994,000
		直接納入	32,000
		入金金	360,000
		年会費	240,000
		定期預金利息	1,322
		口座振替利息	231
支出	2,627,563	前年度からの繰越金	6,630,305
		定期預金(口座番号 2058071) 1年定期	736,305
		普通預金(口座番号 0112670)	774,026
		未払金(ひなまつり)	-20,000
		未収金(名簿より)	3,000
		前年度(24年3月卒業生入会金@3000×120名)	0
		前年度(24年3月卒業生入会金@3000×120名)	-360,000
		前年度(24年3月卒業生入会金@3000×120名)	-240,000
合計	10,159,138		
収入	0	総会費	0
支出	243,594	名簿作成・名簿広告作成費	243,594
	941,303	会費発生・幹事会案内発送費等	941,303
	115,500	名簿管理料	115,500
	345,742	雑費	345,742
	200,000	記念品	200,000
	6,610	事務用品	6,610
	20,696	雑費	20,696
	164,077	その他	164,077
合計	2,038,122		
繰越金	0,121,057	定期預金(口座番号 2058071) 1年定期	6,630,305
		普通預金(口座番号 0112670)	2,071,340
		普通預金(口座番号 0112670)	0
		郵便口座	0
		前年度(25年3月卒業生入会金@3000×116名)	-354,000
		前年度(25年3月卒業生入会金@2000×118名)	-238,000
		合計	0,121,057

平成26年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。
 - 30才以上の正会員の方は3,000円です。
 - 30才未満の正会員の方は2,000円です。
 - ご協力をお願いいただけます方には、賛助会費・特別賛助会費を設けております。よろしくお願いたします。
 - 賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。
 - 平成25年度卒(平成26年3月卒)の方は全員年会費を別途いただきますので、払い込みは不要です。
 - 同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)
- 〇〇〇-〇〇-〇〇 (例、昭和50年卒6年3組40番の方)
- 明治1年 卒業 クラス 出席番号
大正2年
昭和3年
平成4年
- 350-03-40
- 通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。郵便振替 大阪 0096-2-27966 雑松会宛

雑松会会員名簿 第13版(平成24年版) 平成24年11月発行

※同封の名簿用 払込用紙にてお申し込み下さい。